

だんじり祭りに着目した祭礼空間の分析

大阪工業大学大学院工学研究科 学生会員 ○渡辺秀斗

大阪工業大学工学部 正 会 員 吉川 眞

大阪工業大学工学部 正 会 員 田中一成

1. はじめに

祭りは古くから地域住民の協力によって担われ、過去から現代にかけて残された歴史的に貴重な行事である。過去から現代にかけて形態を変えてきた祭りがあれば、昔の形態を変えずに現代に至っている祭りも存在する。過去の祭りの多くは宗教に繋がっていたが、現代では宗教と関係しない祭りも新たに生み出され、人々を楽しませている。

柳田國男によって見出された時間論をとまなう日本人の伝統的な世界観のひとつとして「ハレとケ」がある。祭りや儀礼など、非日常を表すものをハレといい、普段の生活である日常を表すものをケという。祭りが行われる空間、すなわち祭礼空間ではハレの日になると多くの人々が集い、賑わいの場に変化する。祭礼空間というと神社仏閣が思い浮かぶが、他にも祭礼空間がある。関西地方、とくに大阪を中心に行われるだんじり祭りを例に考える。だんじり祭りは神社の境内だけで行われる祭りではなく、神社の氏子町を曳行する形態をとっている。氏子町によってそれぞれ曳行ルートの違いや特徴といったものも見られる。だんじり祭りでは、道路が曳行ルートとなる。だんじりが境内から都市に出て行くことで、道路も祭りの時には祭礼空間に変化して機能することになる。

2. 研究の目的と方法

研究に取り組むにあたって重要な点は、地域の歴史的変遷や祭礼行事などを、現代に残された史料や祭りから捉えることにある。そこで、GISに代表される空間情報技術を用いて分析・表示することにした。本研究では、祭礼が眺められる空間に着目し、祭礼空間の都市への広がり表現する。すなわち、歴史的に価値のある祭礼を、都市に広がる祭礼空間という観点で把握することを目的とする。

本研究では、祭りに関わるさまざまな要素が眺められる空間を「祭礼空間」と定義する。その中でも、だんじりの見え方に着目した。各町の曳行ルートによってだんじりの見え方は異なる。そこで、曳行ルート上に観測対象ポイントを設置し、どこから眺められるのかを可視・不可視分析によって見出している。

3. 対象地

本研究では、長い歴史をもち都市との関わりが深いと考えられるだんじり祭りを対象としている。だんじり祭りは、関西地方、とくに大阪で盛んに行われており、その中でも本研究では大阪府富田林市を対象地としている(図1)。富田林市は大阪府の南東部に位置し、都市化の進展とともに成長してきた都市である。さまざまな文化財や、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている寺内町があり、昔から富田林は河内における重要な都市であった。

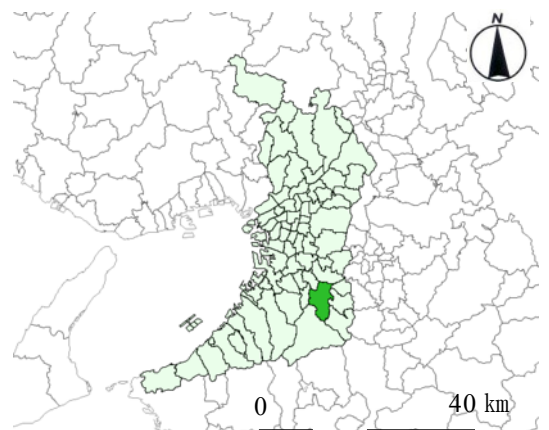


図1 富田林市の位置

キーワード 地域分析, 祭礼, 都市

連絡先 〒535-8585 大阪市旭区大宮 5-16-1 大阪工業大学 TEL 06-6954-4109

4. 富田林市におけるだんじり祭り

だんじり祭りは、大阪の中でも河内・和泉を中心に盛んに行われている。和泉の岸和田だんじり祭りは全国的に有名であるが、河内においても富田林市をはじめ多くの都市でだんじり祭りが行われている。

富田林市には、神社が11社存在する(図2)。中でも6社でだんじり祭りが行われている。一方、残り5社は厳島神社や春日神社など、総本社のある神社である。だんじり祭りを対象として都市との関係性を把握するために、だんじりの曳行ルートに着目した。GISを用いて各町の曳行ルートのさまざまな特徴を把握することにした。

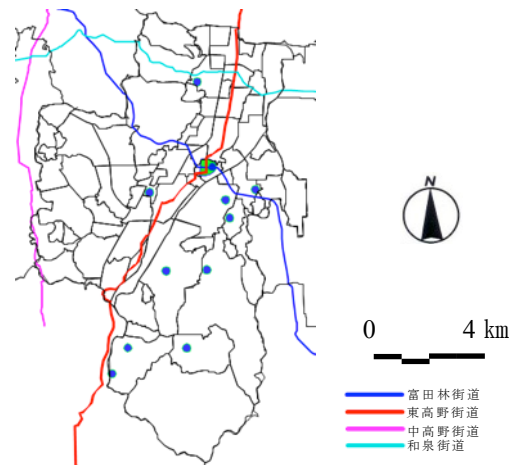


図2 神社の分布

5. 可視・不可視分析

だんじり祭りがどこから眺められるのかを把握するために可視・不可視分析を行った(図3)。分析を行うにあたって、基盤地図情報数値標高モデル5mメッシュ、Google Earth Proを用いてDSM(Digital Surface Model)を作成した。だんじりの曳行ルート上に配置するポイントは、多くのだんじりの高さが4m前後であることから4mに設定し、曳行ルート上に5m間隔で配置している。また、熟視角 1° 以上で、高さ4mのだんじりが認識できる距離は230m以内となる。

各町ごとに分析を行い、祭礼空間の広がりをGIS上で把握した。美具久留魂神社では、神社から外環状線を越えて西に向かう参道があり、参道の入り口に御旅所が位置している。分析結果では、可視頻度値の最高点が、御旅所前に位置していることから、祭礼空間として他の場所よりも重みのある場所であると捉えられる。

上記で述べた分析では、曳行ルート上の観測対象ポイントに対して分析を行い、可視領域を抽出した。一方、ルート上の1ポイントずつで分析を行い、被視頻度値を求めている。美具久留魂神社のだんじり祭りでは、各町の共通ルートである参道を対象に分析を行っている。結果として、市民会館の両隣や参道を挟んだ反対側においても視界を遮る建物がないため、被視頻度値の高いポイントがルート上に集まっている(図4)。

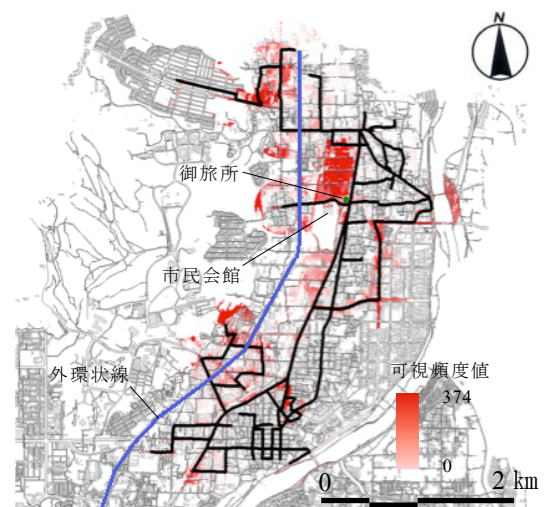


図3 可視・不可視分析の結果

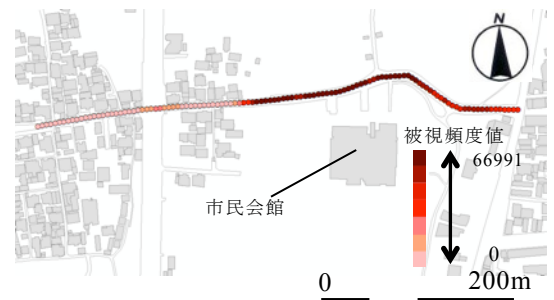


図4 各ポイントにおける被視頻度値

6. おわりに

本研究では、可視・不可視分析を行い、各神社の町ごとに祭礼空間の都市への広がりを把握した。今後は、神社の祭礼だけでなく寺院の祭礼にも展開していくつもりである。

参考文献

- ・だんじり eo Special Edition : <https://eonet.jp/danjiri/>